
令和2年度
琉球大学 教育学部 美術教育専修
卒業展

卒業展に寄せて

今年も無事に、琉球大学教育学部美術教育専修の学生たちによる「卒業展」が開催されます。

長田裕作、松尾朋香、黒木智瑛、諸見里ちひろ、平良陽和。今年度の出品者である5名は、自ら決めた研究テーマに向き合い、悩み、考え、小さかったり大きかったりする発見や決断を積み重ねながら、約1年の卒業研究に取り組んできました。自分自身について、世界について、感覚を研ぎ澄ました1年間となったのではないのでしょうか。それぞれのやり方で行ったその作業は、間違いなく彼らの魂に磨きをかけたと思います。

人生の道の途中、広い世界へ飛び立とうとする現時点での、彼らが辿りついた答えがここにあります。

ぜひ、多くの皆様にご覧いただき、作者たちに叱咤激励などいただければ幸いです。

今年度は、思いもしなかったパンデミックの中での卒業研究となり、そして7月には、入学時からタッグを組んでいた年次指導の上村豊先生が亡くなるという悲しみがありました。溢れる情熱で学生を育てようとしていた上村先生も、きっと彼らの成長を喜んでくださっていると思います。

美術教育専修
4年次指導教員（2代目）
仲間伸恵

作品
研究題目・研究概要

— 教育学部 美術教育専修 —



長田 裕作

Yusaku Nagata



松尾 朋香

Tomoka Matsuo



黒木 智瑛

Chiaki Kurogi



諸見里 ちひろ

Chihiro Moromizato



平良 陽和

Hiyori Taira

私を語る服

私は物事に対して懐疑的だ。
そして迷い、惑う。
それでも自分で選択し、前へ進む。
そんな私の姿はカッコいい。



▲「私の姿」
布 マスキングテープ 新聞紙
171 (cm)

気持ちを届ける衣服

嬉しいとき、悲しいとき、楽しいとき、怒ったとき…
私の持つ様々な感情は“織る”という行為を経て全て昇華されていった。
どうか誰も気づきませんように。

この感情があらゆるものに干渉しませんように。
無意識に、けれど徹底的に、今までの私は感情を殺す事に専念してきた。

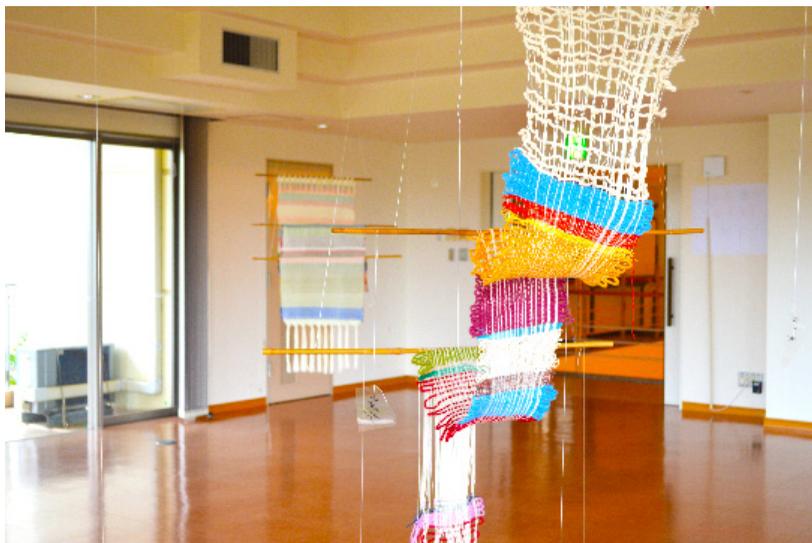
だから私はこの1年を通して、自分の感情と向き合うことにした。

気の赴くままに、私の感情を乗せて、
嬉しいとき、悲しいとき、楽しいとき、怒ったとき…
全ての感情を織り交ぜて、布にぎゅっと詰め込んだ。
誰かが気づいてくれますように。
誰かに届きますように。

いつからか私はそう思うようになっていた。



▲「the week」
木綿糸、絹糸、毛糸、透明フィルム
50 × 500 (cm)



▲ 「the week」・「こころ」
木綿糸、絹糸、毛糸、透明フィルム
サイズ可変



▲ 「sky」
木綿糸、絹糸、毛糸
20 × 30 (cm)



▲ 「暗れ惑う」
木綿糸、絹糸、毛糸
50 × 500 (cm)

他者と繋がる空間づくり

私の中には「カーテン」がある。

物心ついた頃から、人と関わりを持つとき壁のような何かを作っている自分がいた。

仲良くなりたいけど放っておいてほしい、私を見てほしいけど見られたくない。

でも、完全に隠れたい訳じゃない。

私が私らしくあるための境界、一年間の研究を通して私の中にあっただ壁の正体は

「カーテン」だったことに気づいた。

「大丈夫。私には、カーテンがある。」



▲「繋がり 一歩目」

画用紙

サイズ可変



▲「繋がり 一步目」
障子紙 インク
サイズ可変

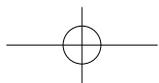
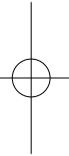
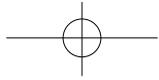
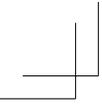


▲「ピース」
プラスチックボード 油性ペン
サイズ可変



◀「繋がる」
障子紙 墨汁
サイズ可変

美しいものを描きあつめる



器の形態 - シャープさとおおらかさの関係性について

陶器のぽってりとした重みやざらざらとした質感、つめで軽く弾いた時の鈍い音は、優しく、暖かく、おおらかで、使っていると愛くるしい気持ちになる。その一方で、私が普段目を引く”美しさ”には、洗練されていて、気高く、冷たい雰囲気のものが多い。

そこで私の中にあるこの”美しさ”の感覚と、陶器が元々持っているおおらかで優しい雰囲気を調和させたいと思った。

触って、持って、使って、ようやくおおらかさとシャープさとの調和を感じることができるのかな...



▲「フォルムの展開 - 丸」

陶器

左から 12×7×7 (cm)、12×7×7 (cm)、13×7×7 (cm)、13×7×7 (cm)



▲「取手の展開」(部分)

陶器

左から $8 \times 11 \times 8$ (cm)、 $9 \times 11 \times 8$ (cm)、 $11 \times 11 \times 7$ (cm)、 $11 \times 12 \times 8$ (cm)



▲「表面装飾の展開 - 円柱」(部分)

陶器

$10 \times 7 \times 7$ (cm)



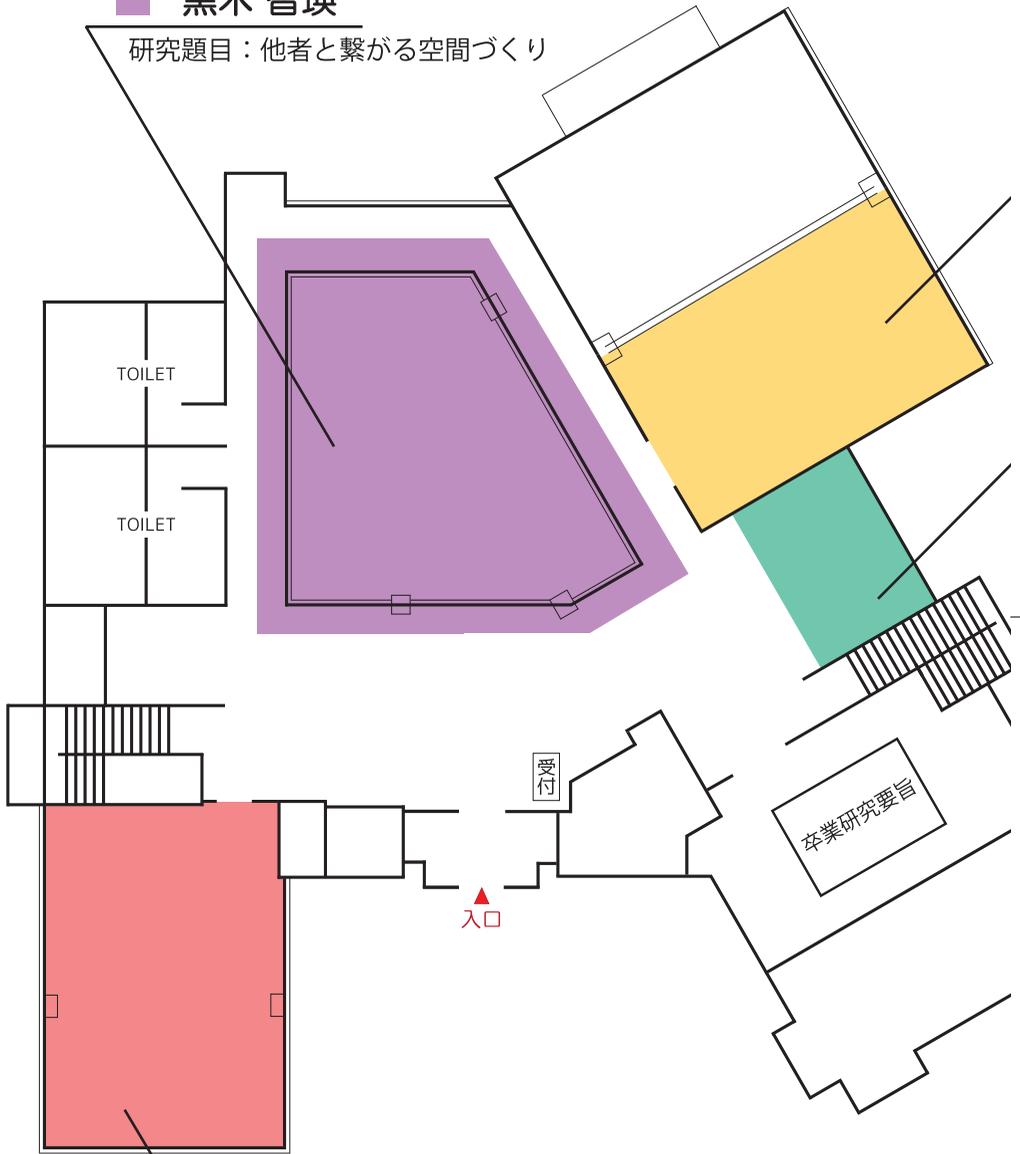
▲「フォルムの展開 - 角」(部分)

陶器

$12 \times 7 \times 7$ (cm)

■ 黒木 智瑛

研究題目：他者と繋がる空間づくり



■ 平良 陽和

研究題目：器の形態 - シャープさとおおらかさの関係性について

2020年度 琉球大学
卒業展 会場案内図

■ 長田 裕作

研究題目：私を語る服

■ 諸見里 ちひろ

研究題目：美しいものを描きあつめる

■ 松尾 朋香

研究題目：気持ちを伝える衣服

2F



令和2年度 卒業展

琉球大学 教育学部 美術教育専修

< 展示 >

会期：2019年2月9日（火）～2月13日（土）

会場：琉球大学研究者交流施設・50周年記念館

< 図録 >

編集：美術教育専修 卒業展実行委員会

印刷：（株）プリントパック

発行：琉球大学教育学部 美術教育講座

2021年2月 400部

